

二六〇二號無形受言十部ノ受言部ニ送ルハ一陸軍省軍事課

521

第八號
閱

保存期限	決裁指定	決行指定		
	件名	大臣		
受領 番號	受領 領省	受領 一五〇七號	起元廳(課名)	陸軍省軍務局軍事課
政務次官 回付 決裁(前)後 連帶 參謀本部 人事局 經理局				
決行(決裁)後 回覽 課名				
參與官				
書記官				
審案 筆記者				
房官臣大	了結	昭 和 年 月 日	大臣	局長
	領受	昭 和 年 月 日		次官
課局務主	出提	昭 和 五 年 十 月 三 日	政務 次官	高級 副官
領受	昭 和 年 月 日		主務 課長	主務 課員
號番	軍事課第一五號			
連帶	局長			
決行後 決覽	局長			
	長課			

五

第四師團司令部定員外人員増加配屬件

昭 和 年 十 月 廿 八 日



陸軍省軍務局
十月九日
午前
主計課

決裁案

關西方面言論界ノ狀況ニ鑑ミ之カ操縦ノ為メ
第四師團司令部ニ佐官一名及囑託一名ヲ定員外
トシテ増加配屬致シ度
右乞決裁

昭和五年拾月四日

理由

大改ニ於ケル各種言論機關ハ從來ヨリ關西方面言
論指導ノ為一大勢力ヲ有シ為メニ第四師
團長ハ從來ヨリ之カ操縦ニ專任スヘキ所要人員
ノ増加ヲ熱望シアル所ナルカ最近外交及財政

方面ヨリ軍縮、輿論喚起ノ為關係中央部ヨリ大改
 ニ所要ノ人員ヲ配置セル形跡アルノミナラス其々大
 新聞ニハ既ニ直接ノ手段ヲ講シ其ノ言論操縦ヲ
 策シアルヤニ聞ク然ルニ第四師團司令部定員内
 ノ人員ヲ以テスル片手間的指導ヲ以テシテハ後未
 トテモ事實外望ノ効果ヲ收メ得サル狀況ニ在リ況
 ンヤ他方面ニ於テ前述ノ如キ手段ヲ講スルニ於テオヤ
 翻テ現下國內言論機關ノ論調ヲ顧ルニ陸軍トシテ
 特ニ深甚ノ注意ヲ要スルモノアリ其ノ誤レルヲ是正
 シ適正ニ軍ノ要求ヲ國民ニ理解セシメンカ為ニハ軍
 部トシテモ亦相當ノ施設ヲ要スルモノアリ

然レトモ之カ為今直ニ多数ノ人員ヲ充當スルハ困難ナル狀況ニ在ルヲ以テ不取敢此際既ニ經驗アル適任者ヲ助手ト共ニ第四師團司令部ニ増加配屬シ以テ該方面言論機關ノ操縦ニ任センルハ刻下喫緊ノ要事ナリト思考ス之レ本案ヲ實行セントスル所以ナリ

處置

一 專任、佐官一、兵器本廠、平時編制附表備考
 配屬人員中現ニ使用シアラサル位置ヲ大阪兵器
 支廠ニ流用シ師團司令部ニ於テ服務セシム

(從テ陸軍平時編制ノ定員内ナリ)

二月類百圓内外ヲ以テ適任者(或ルハウ並御將校)ヲ物色シ囑託トシテ採用スルコトトス

陸軍

0430

閣

決行指定

決裁指定

保存期限

房官臣大		課局務主		大臣 陸	局長 主務	次官	政務 次官	件名 第四師團司令部定員外人員增加配屬ノ件	受領 番號							
了結	領受	出提	領受						號番	局長 主務 課長	高級 副官	參與官	起元廳(課)名 軍事課			
昭和	昭和	昭和	昭和						筆事課第一五七號					主務副官 官房御用掛	書記官	新聞班
年	年	年	年						十月十六日							
月	月	月	月	十月十六日	審案 筆記者	審案 筆記者										
日	日	日	日	十月十六日			審案 筆記者	審案 筆記者								
(裁決)行決後 覽回		帶連														
局長		局長														
長課		長課														

政務次官 回付 決裁(前)連帶 補 恩主

決行(決裁)後 回覽 課名 新聞班

副官より第四師團參謀長へ通牒案（陸普）

關西方面に於ける國防思想普及業務に専任
セシムル為今般佐官一名及囑託一名ヲ貴師團
司令部に増加配屬ノコトと定メラレタルに付通

牒ス

陸軍省 陸軍部 第四師團 第一號

昭和五年拾月拾六日

追而囑託ハ貴師團に於テ適任者ヲ採用セラ
レ度所要經費ハ増加令達セラレハキニ付申添
フ

陸 軍